

# 史跡飯盛城跡整備基本計画

## 概要版



令和7年(2025)3月

大東市

四條畷市

# 史跡の概要

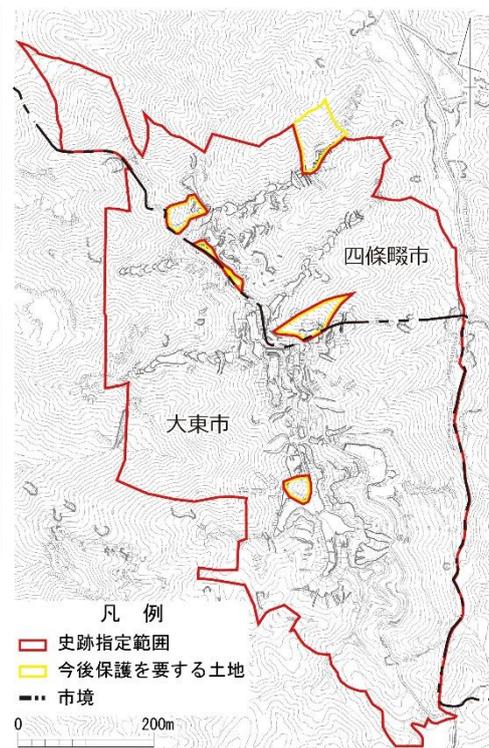
史跡飯盛城跡は、生駒山地から派生する支脈の北端部、大東市・四條畷市にまたがる標高 314mの飯盛山の山頂を中心に築かれた戦国時代末期の山城跡です。飯盛城は、木沢長政の居城として文献上初めて登場します。城主は交野郡出身の安見宗房を経て阿波（現在の徳島県）出身の武将三好長慶が永禄 3 年(1560)に居城とし、三好政権の政治・文化の中心として機能しました。



堀切



石垣



史跡指定範囲図

大東市・四條畷市で平成 28(2016)年度から 3 かにわたり実施した総合調査の結果、織田信長から始まる織豊系城郭とは異なる特徴を持ちつつも石垣・礎石建物・瓦という 3 つの要素を取り入れた城郭史上の画期に位置づけられる貴重な山城であることが明らかになりました。当時の曲輪や石垣などの城郭遺構が良好な状態で残っていることから、「戦国時代の政治・軍事を知るうえで貴重」として、令和 3 年 10 月 11 日に国史跡に指定されています。

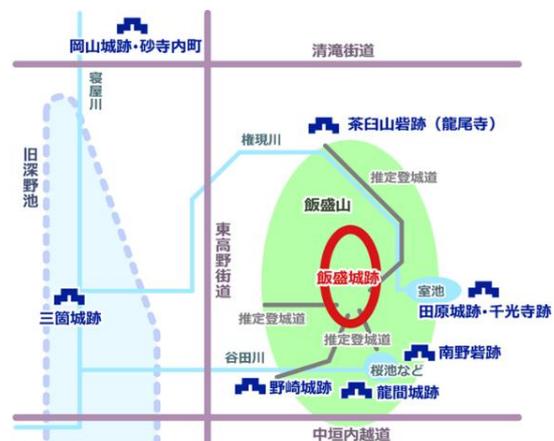
## 整備基本計画とは

### 整備基本計画とは

史跡飯盛城跡の保存・活用に関する取り組みを計画的に進めていくために、令和 4 (2022) 年度から 2 年をかけて基本的な指針となる『史跡飯盛城跡保存活用計画』(以下、『保存活用計画』)を策定しました。この『保存活用計画』を踏まえ、史跡飯盛城跡を確実に保存し、未来へ継承するための適切な整備と活用のあり方を具体的に示し、整備の方向性を明らかにすることを目的としたのが『史跡飯盛城跡整備基本計画』です。

### 計画対象範囲と期間

本計画では、史跡飯盛城跡の史跡指定範囲と今後保護を要する土地を計画対象区域とし、史跡飯盛城跡の支城跡、推定登城道や周辺の街道、旧深野池の範囲を史跡と一体的に保存・活用を目指す範囲とします。計画期間は令和 7 (2025) 年度から令和 16 (2034) 年度までの 10 年間です。



史跡と一体的に保存・活用を目指す範囲 (概念図)

# 整備の基本方針

## 整備の目標

史跡飯盛城跡という貴重な歴史遺産を次世代に確実に継承していくことが現代の私たちの役目であるとして、以下の目標を定めました。

- ・ 史跡飯盛城跡の本質的価値の保全・次世代への継承
- ・ 中世城郭の調査・研究を推進する場所
- ・ 地域の歴史的ランドマークとして顕在化、観光振興、地域振興への寄与

## 整備の方針

史跡の本質的価値を構成する遺構の保全と次世代への継承を大前提として、そのうえで史跡の適切な保存・活用を図るため、5つ基本方針「調査研究」「保存のための整備」「活用のための整備」「公開活用」「体制整備」を定めました。

## ゾーン別整備計画

史跡飯盛城跡の整備にあたり、計画対象範囲を「山城学習ゾーン」「遺構保存ゾーン」「斜面地保全ゾーン」の3つのゾーンに分けて整備します。このうち一般に公開されるのは「山城学習ゾーン」のみとなり、「遺構保存ゾーン」「斜面地保全ゾーン」は非公開です。

### 山城学習ゾーン

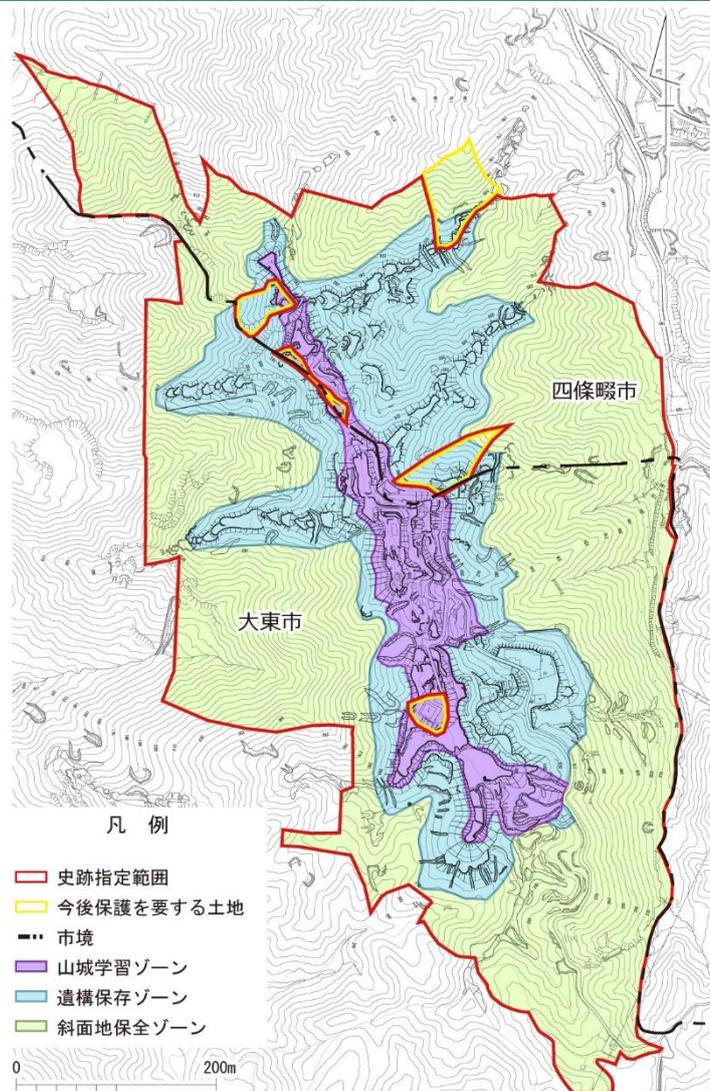
曲輪や石垣、豎堀などの城郭遺構が連なり、公開・活用の中心となるゾーン。急峻な地形に石垣を多用した城郭の防御空間と、城主や家臣の居住場所であった居住空間からなる飯盛城跡の特徴を学ぶことのできる環境を整備します。

### 遺構保存ゾーン

非公開の曲輪や石垣などの城郭遺構の保存と修復を行うゾーン。遺構の調査や、石垣遺構の保存と修復などを行い、遺構を良好な状態に維持します。

### 斜面地保全ゾーン

城郭外側に広がる斜面地の森林ゾーン。史跡の保護のため、城郭を取り巻くバッファゾーンとして、斜面地の森林を良好な状態に維持します。



ゾーニング図

## 整備の概要

本計画では整備内容を項目別に分類し、各ゾーンに該当する整備項目を計画・実施します。

### 【山城学習ゾーン】

#### 遺構の保存と修復

遺構保存の基礎データとなる石垣台帳を基に石垣カルテを作成し、遺構保存に関する診断を行います。そのうえで遺構を傷つける要因を排除し、石垣を保護するための応急対策や今後の方針を検討します。

また、雨水が集中的に流れることによる遺構の侵食や崩落を防ぐため、土のうを設置するなどの処置を行います。雨水排水整備に向けて、流域や水利調査の実施を検討します。



石垣 69

#### 城郭遺構の顕在化と眺望確保

山中に残る虎口や曲輪・堀切・切岸・竪堀などの城郭遺構が現地で見学しやすいように下草刈りや樹木管理を行います。また、飯盛城主であった三好長慶が眺めた眺望を確保するための眺望ポイントを設定します。



曲輪斜面の洗掘

#### 見学環境の整備

来訪者が史跡を見学しやすい環境を整えるためサイン計画に基づき、統一したデザインの誘導標識や解説板を整備します。

また、来訪者が安全に見学できるように園路管理を行うとともに、遺構を傷めない動線を確保するほか、歩行困難な箇所にはデッキ階段などの設備の導入を検討します。



展望台からの眺望

### 【遺構保存ゾーン】

#### 遺構の調査

城郭の主要動線である場内通路や機能が明らかになっていない曲輪など、史跡指定地内には未調査の遺構があるため継続して調査を実施します。把握済みの遺構についても測量調査を実施し、状況をより詳細に把握して成果を保存整理します。



石垣 3・4

#### 石垣遺構の保存と修復

遺構保存の基礎データとなる石垣台帳を基に石垣カルテを作成し、遺構保存に関する診断を行います。そのうえで遺構を傷つける要因を排除し、石垣を保護するための応急対策や今後の方針を検討します。

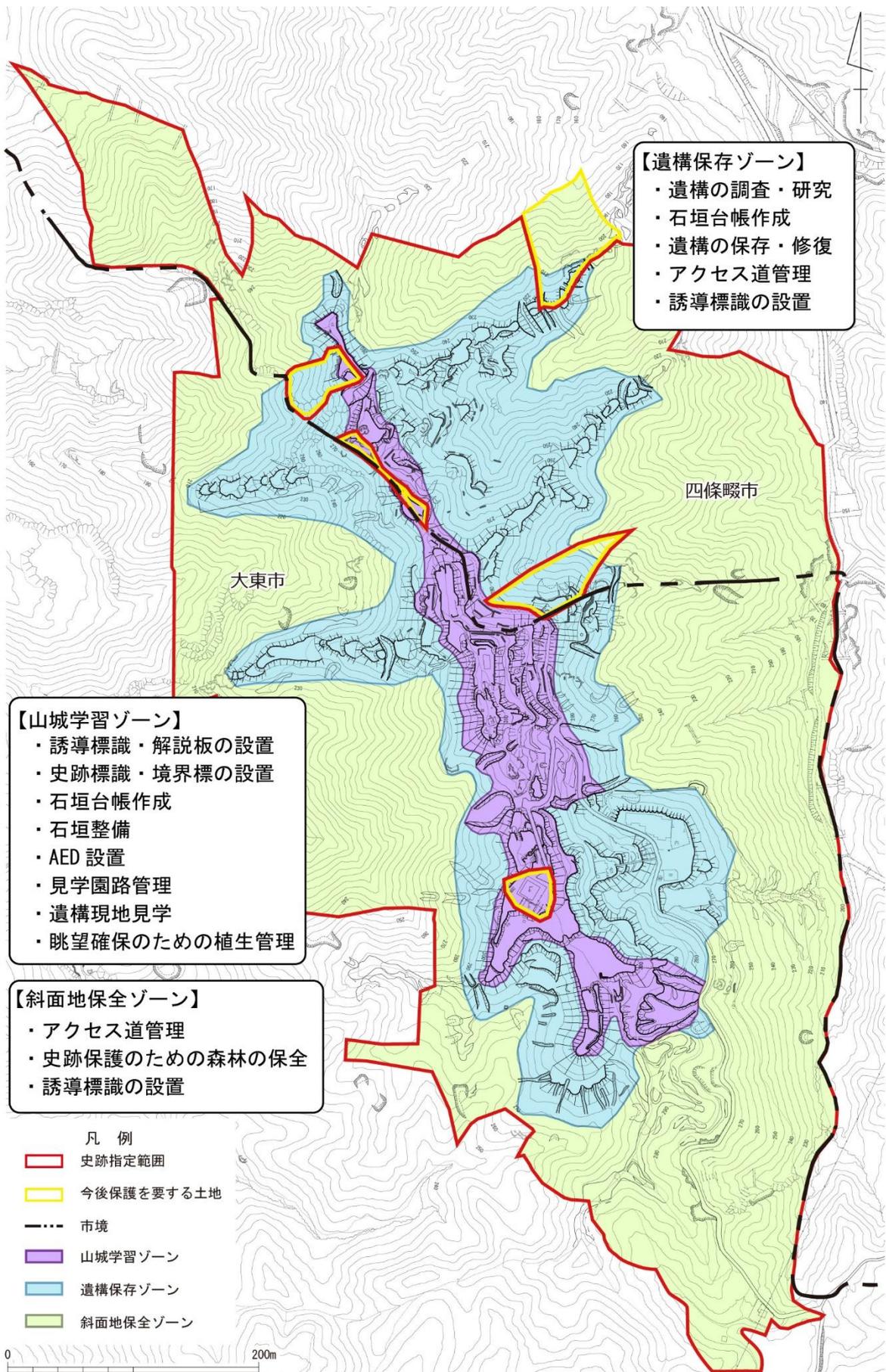
### 【斜面地保全ゾーン】

#### 斜面地の森林の保全

史跡の保護のため、自然環境の調整を図ります。また、森林景観保全に向けて、地域住民の協力を得ながら外部関係機関や庁内関係部局と意見交換や情報共有をして積極的な連携を図ります。



飯盛山の遠景



**【遺構保存ゾーン】**

- ・遺構の調査・研究
- ・石垣台帳作成
- ・遺構の保存・修復
- ・アクセス道管理
- ・誘導標識の設置

**【山城学習ゾーン】**

- ・誘導標識・解説板の設置
- ・史跡標識・境界標の設置
- ・石垣台帳作成
- ・石垣整備
- ・AED 設置
- ・見学園路管理
- ・遺構現地見学
- ・眺望確保のための植生管理

**【斜面地保全ゾーン】**

- ・アクセス道管理
- ・史跡保護のための森林の保全
- ・誘導標識の設置

- 凡 例
- 史跡指定範囲
  - 今後保護を要する土地
  - 市境
  - 山城学習ゾーン
  - 遺構保存ゾーン
  - 斜面地保全ゾーン

ゾーン別 整備の概要図

## 【地域全体における関連文化財との有機的な整備活用】

史跡飯盛城跡周辺には、慈眼寺をはじめ、北条神社や堂山古墳群など、東高野街道沿いを中心に徒歩や自転車で周遊できる地域資源があります。既存のまち歩きマップを活用し、史跡飯盛城跡だけでなく周辺の地域資源にも足を運んでもらえるように情報発信や普及活動に力を入れます。



大東市立歴史民俗資料館



四條畷市立歴史民俗資料館



野崎駅



四條畷駅



morineki



復元想像図



VR

# 事業スケジュール

本計画の計画期間は令和7(2025)年度から令和16(2034)年度までの10年間です。計画期間の内、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までを短期、令和12(2030)年度から令和16(2034)年度までを中期とします。

短期から中期前半にかけては、石垣を中心に保存整備や設計、測量調査、遺構確認調査を主として行い、石垣台帳を作成します。そのほかに、短期から中期にかけて、誘導標識や解説板の設置、遺構・アクセス道の維持管理を恒常的に行います。

分類	内容	短期					中期					長期
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17以降
		(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)	(2033)	(2034)	(2035)
保存整備	石垣測量調査	大東市	石垣67 71、93、94	石垣 3・4、9、54	報告書 作成							
		四條畷市	石垣41 42、91		石垣43、44 45、74、90		石垣17 19、65、66	石垣29 39、40	石垣 20、32		報告書 作成	
	石垣整備	大東市		石垣6・7 保存整備	報告書 作成	石垣1・69 基本設計	石垣1・69 発掘調査	石垣1・69 実施設計	石垣1・69 保存整備	報告書 作成		
		四條畷市		V郭周辺石垣保全								
	石垣台帳作成		→									
	遺構維持管理	大東市	石垣3 倒木除去	石垣71 生育樹木管理			遺構状態点検					
		四條畷市			石垣15生育 樹木管理	堀切4付近 樹木管理	遺構状態点検					
史跡標識 ・境界標	大東市		標識・説明板設置 (大東市)境界標の設置									
	四條畷市		標識・説明板設置				(四條畷市)地籍調査検討					
活用整備	誘導標識・ 解説板の設置	大東市		誘導標識 設置	解説板設置							
		四條畷市	標識等設置準備調査		誘導標識 設置	解説板設置						
	園路整備								I・II・V郭階段デッキ整備検討			
	遺構公開整備				VI・VII郭 眺望確保	I・II・V郭 樹木管理	草木日常管理					
	史跡アクセス道点検		点検・管理									
	便益施設の維持管理		点検・管理									
	来訪者安全対策		点検・管理									
	来訪者安全対策		AED設置									
ガイダンス機能強化				歴史民俗資料館の統一的 展示計画の検討		展示替え	ガイダンス機能強化検討					
調査・ 研究	遺構確認調査	大東市								曲輪110、111、112		
		四條畷市			曲輪59 堀切4			曲輪 65、66				
	地質・植生に関する 調査研究		→									
事業情報	講座・パンフレット等		→									
管維持	専門職員の配置と 技術向上		→									

# 整備イメージ



史跡飯盛城跡の将来的な整備イメージ



VI郭の整備イメージ



石垣1・69の整備イメージ

## 史跡飯盛城跡整備基本計画 概要版

令和7(2025)年3月31日発刊

### 編集・発行

大東市 産業・文化部 生涯学習課  
〒574-0076 大東市曙町4番6号  
TEL 072-870-9105 FAX 072-870-9687

四條畷市教育委員会 社会教育部 文化財課  
〒575-8501 四條畷市中野本町1番1号  
TEL 072-877-2121 FAX 072-877-8300

大東市印刷物番号

06-87